様式W-1

研究集会（国際/国内）申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成　　年　　月　　日

　　　東京大学地震研究所長　殿

〔代表者〕

職　名

所属機関・部局名

住　所　〒

電　話

E-mail

下記のとおり研究集会の開催について申請します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究集会名 |  | | | |
| 研究集会概要 | ※100字～150字で、研究集会の概要をご記入ください。 | | | |
| 開催予定場所\*1 |  | | | ※どちらかを削除してください。  公開・非公開 |
| 開催予定期間 |  | 種別 | ※どちらかを削除してください\*2  国際・国内 | |
| 地震研究所担当教員 |  | | | |
| 主な発表者名 |  | | | |
| 参加者氏名  及び人数 | 名　（内、旅費を必要とする人数　　　名）  ※参加者名簿を別紙で提出してください。 | | | |

記

\*1　地震研究所外で開催する場合及び非公開とする場合は、その理由を次頁に記載してください。また、一部も含めオンライン開催とする場合は、オンライン(一部/完全)等と記載してください。

\*2　国際は、原則として英語を使用言語とし、外国人研究者が参加する研究集会とします。それ以外の場合は国内としてください。

|  |
| --- |
| 研究集会の目的・内容、地震研究所での研究活動との関連、期待される成果  (使用する文字は10ptとし、枠の中に納めてください。※なお、様式中の注意事項については、削除いただいてかまいません。)  （過去5年以内に地震研究所共同利用に関連課題が採択されている場合は、採択年または課題番号と、課題名を記載してください。また、継続して申請される場合には、これまでの研究集会を開催してきたことによる効果と、今回の申請のポイントを明記してください。加えて、もし過去の採択課題に関連して、研究集会での議論をもとに外部資金獲得に繋がった事例がありましたら、記載してください。  ※地震研究所外または非公開で開催する理由 |
| 研究集会成果集の作成：　有・無 ※どちらかを削除してください。（有の場合は、終了後１部送付ください。） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 必要経費  (千円)  ※備品の購入はできません。 | 旅費 | | | | 謝金・役務・会場費\*3 | | |
| 経路 | 日数 | 人数 | 金額 | 事項 | 数量  （時間数） | 金額 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | 千円 | | | | 千円 | | |
| 総計 | 千円 | | | | | | |

\*3　従来の旅費、印刷費に加え、2020年度より研究集会運営のための単純労務謝金および役務費と電子版印刷物作成経費（役務費）についても執行可能となりました。なお、役務費については、研究集会開催運営費のような記載ではなく、例えば、研究集会運営にかかるWebサイト作成費、会場設営費、電子版報告書作成費等の具体的な内容で支出事項を記載ください。また、会場費については、地震研究所外で開催を希望する理由を明記した場合のみ、申請できます。

研究集会参加者名簿

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 所属機関 | 職　名 | 備　考  （旅費を申請する場合は〇をつけてください。） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※適宜枠を拡張してください。

※本研究集会での議論から発展した、研究成果を論文等に発表する際には、東京大学地震研究所共同利用により助成を受けた旨の謝辞記載と別刷などの提出を必ずお願いいたします。

※大学院進学予定の学部生は大学院を記載し、職名に進学予定と追記してください。（例：大学院生（進学予定））

（記載例：課題番号｢2022-W-01｣）

【英文】：下のいずれか

・This study was supported by ERI JURP 2022-W-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・This study was funded by Earthquake Res. Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-W-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-W-01)の援助をうけました。